

夏秋ギク二度切り栽培における2番花の品質向上

福島県農業試験場いわき支場・平成10年度春夏作試験成績概要

1 部門名 花き－キク－生育調節 05－08－16000000

2 要 旨

夏秋ギク(輪ギク及び小ギク)の二度切り栽培において2番花の品質の安定・向上をはかるため、電照終了時の生育量(草丈及び花芽分化ステージ)と切り花品質について検討した。電照は1番花の切り花終了直後から行い、深夜4時間(22:00～2:00)の暗期中断とし、照度50ルクス以上とした。栽培方法は、1番花を6月に開花させるため前年の12月下旬にかき芽苗を定植し、無摘心の2本仕立てとした。また、2番花は地際部から発生する充実した萌芽茎を2本仕立てとした。

(1) 輪ギク「サマーイエロー」では、草丈がおおよそ40～60cm(この時点の花芽分化ステージは概ね総ほう形成後期である)で電照を終了した場合、無処理に比べて切り花長が20cm以上、切り花重が10g以上優った。

(2) 小ギク「紅子」では、草丈がおおよそ50～60cmで電照を終了した場合、切り花長が20cm以上、切り花重が10g以上優り品質が向上した。